

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名)三菱重工業株式会社神戸造船所二見工場

1 環境保全活動に関する方針等

1 - 1 環境保全活動に関する方針

別紙1のとおり

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

別紙2のとおり

2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
	別紙3のとおり	

当所の環境方針は品質／環境／安全衛生・放射線管理方針として一本化されており、次のとおり。

三菱重工業(株)神戸造船所 品質/環境/安全衛生・放射線管理方針

神戸造船所は、社是「顧客第一の信念に徹し、社業を通じて社会の進歩に貢献する」に基づき、地球環境の保全・社会の継続的発展に寄与することを事業活動の基本とし、社会・お客さまの様々なニーズ・課題に対応すべく技術力と品質の向上に努め、社会・お客さまが信頼・満足する優れた製品・サービスの提供と事業の継続的発展を目指して、以下の品質、環境、安全衛生・放射線管理に関する方針を定める。

- (1) 品質、環境、安全衛生・放射線管理の各々のマネジメントシステムを確立して、事業活動の管理者の責任と権限を明確にし、当社コンプライアンス指針に則り、法令、規格、基準及び協定等を遵守し、社会的責任を果たすとともに、自主的な基準・目標を定めてこれを運用・評価し、事業活動及びマネジメントシステム有効性の継続的改善に努める。
- (2) 社会・お客さまが信頼・満足する優れた製品・サービスを提供するために、所内の人材育成・組織力の向上及び職場の継続的業務改善を図り、誇りを持って安全に仕事のできる職場風土・環境を確立し、活力のある組織構築に努める。また、製品・サービスのトータルの品質向上により、社会・お客さまからの信頼を確保し、クレームの低減を図るとともに、中長期的視野に立ち、環境・エネルギー問題の解決に貢献する、信頼性及び安全性がより高いオリジナリティーあふれる製品や技術の開発に努める。
- (3) 事業活動及び製品・サービスが環境に与える影響を認識し、技術的・経済的に可能な範囲で、環境保全及び環境改善活動の継続的改善を図り、汚染の予防・環境負荷の低減に努める。
- (4) 全員参加の安全衛生・放射線管理活動を積極的に推進することにより、事業活動のあらゆる面で、安全衛生・放射線管理の継続的な維持・改善に努め、労働災害の防止を図る。
- (5) 従業員及び当所で働く全ての人に対して、所内広報活動・教育を通じ、本方針の理解と意識の向上を図るとともに、地域社会との協調を図り、積極的に情報を公開しコミュニケーションを重ねることにより、社会貢献・社会との共存共栄に努める。

平成20年4月8日

三菱重工業株式会社

神戸造船所長

環境保全に関する組織の現況

当所における環境管理体制は、図1のとおり。

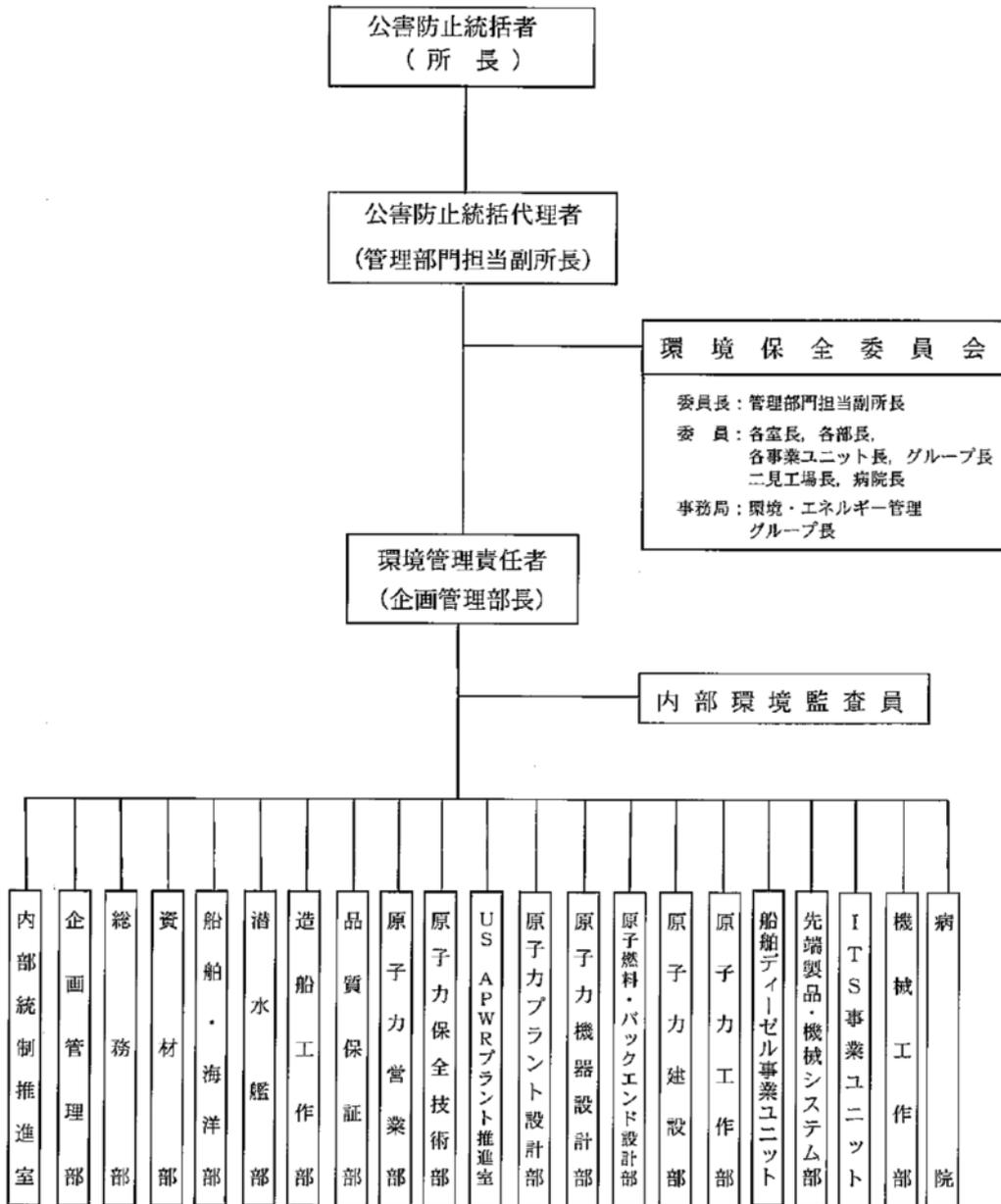


図1 環境管理体制 (H20.4)

重点取組み目標・計画 実施状況

環境方針	環境目的	環境目標	実施状況
世界に通ずる高水準の品質と安心をお客様に提供し、グローバルマーケットシェアを獲得	業務の改革	業務の効率化と合理化の推進	V-UP新風土活動, 3D-CAD等のシステムの利用, 業務プロセスの明確化や改善に取り組み, 全体の88%が目標をほぼ達成済。
		クレーム費の削減	トラブルの未然防止に繋げる定例会議の開催, 不適合・良好事例の水平展開, 部門での教育等を実施し, 全体の80%が目標をほぼ達成済。
リスク予知の徹底による製品信頼性向上と顧客満足の獲得	環境配慮設計の推進	新製品・新技術の計画・開発時に環境配慮事項の織込み/実製品化における環境配慮設計の実施	3D設計, 設計標準化, 製品環境側面・環境影響評価等を実施し, 当該全部門がほぼ達成済。
グローバルスタンダードに基づくバリューチェーンのあらゆる業務プロセスの品質向上	コンプライアンスの強化	設備, 作業及び業務における環境関連の法的及びその他の要求事項の確実な織込みと順守	大気, 水質, 騒音, 振動, 廃棄物, 悪臭, 粉じんにおける環境関連の法的及びその他の要求事項の確実な折込を実施し, 順守に努めた。
ものづくり革新活動を基軸に合理化・効率化による生産性の更なる向上	省エネ活動の展開 (CO ₂ 削減)	生産設備の原単位改善 (二見工場: 電力トレンドグラフに基づくムダ排除)	原単位フォロー会を2ヶ月毎に開催し, ムダ排除活動の推進を継続中 (集塵機のマメな停止, 工場照明の昼間部分消灯等)
		各部課単位での省エネ活動の推進 (部門毎で省エネ活動推進レベルを自己診断し, レベルアップ目標値を設定し, 具体的活動を推進)	省エネ活動レベルを点数表示できる自己診断フォームを制定し, 各部門の活動状況を集計完了。年度取組みで半数以上の部課でレベルアップを達成。
製品事業に資する専門教育の更なる充実	ゼロエミに向けた活動展開	省エネ法改正を踏まえた輸送エネルギー消費原単位の1%減(前年度比)の達成	輸送エネルギー消費原単位 1%減に向け立案した計画に基づきほぼ取組み完了
		所内で発生する廃棄物の98%以上をリサイクル化する。	埋立の廃止, リサイクル先の開拓, 所内の廃棄物分別活動を推進し発生廃棄物の98%以上リサイクル化を達成した。